



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 木船 亨

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,968	2.2	391	7.1	452	12.9	313	18.4
2019年3月期第1四半期	5,079	1.3	365	76.0	400	45.1	265	59.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 76百万円 (81.8%) 2019年3月期第1四半期 423百万円 (24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	11.69	
2019年3月期第1四半期	9.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	21,379	15,908	74.9
2019年3月期	22,162	16,209	73.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 16,017百万円 2019年3月期 16,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		11.00	11.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	4.5	700	10.2	750	20.0	500		18.62
通期	20,500	4.4	1,300	3.6	1,400	11.0	950	176.1	35.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	29,748,200 株	2019年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,895,956 株	2019年3月期	2,895,956 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	26,852,244 株	2019年3月期1Q	26,852,392 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産は弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかに回復しております。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注視が必要な状況であります。

精糖業界においては、砂糖消費の減少傾向が続くなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,968百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益391百万円（同7.1%増）、経常利益452百万円（同12.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は313百万円（同18.4%増）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖事業においては、ゴールデンウィークの天候にも恵まれ、特約店向けの荷動きは好調に推移したものの、飲料、調味料など液糖の販売が減少したため、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では、販売数量の減少が響き、減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高2,722百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益405百万円（同7.3%減）の減収減益となりました。

② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、機能性表示食品及び低糖質素材としての評価向上や高付加価値提案の販売効果により新規採用件数は増加しましたが、大手ユーザー向け販売が伸びず、前年同期に比べ若干の増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品でありますペクチン、ゼラチン及びブレンド品の販売が伸びたことにより増収となりました。

利益面では、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.において、前期に減損損失を計上したことにより、減価償却費の負担が軽減され、業績が改善いたしました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高2,046百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益96百万円（同100.2%増）の増収増益となりました。

③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高153百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益137百万円（同0.3%減）とほぼ前年同期なみの業績となり、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

④ その他食品

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高46百万円（前年同期比22.2%減）、営業損失13百万円（前年同期営業損失22百万円）の減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3.5%減少し、21,379百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ8.7%減少し、9,652百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1.2%増加し、11,727百万円となりました。これは主に投資その他の資産「その他」に含まれる長期貸付金の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ10.8%減少し、3,805百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ1.2%減少し、1,665百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.9%減少し、15,908百万円となりました。これは主に時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日付け公表の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,373,473	2,253,328
受取手形及び売掛金	2,702,826	2,906,049
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,118,084	2,110,782
仕掛品	139,172	140,928
原材料及び貯蔵品	909,946	874,233
その他	1,035,346	1,069,019
貸倒引当金	△1,964	△2,081
流動資産合計	10,576,885	9,652,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	466,637	457,676
機械装置及び運搬具（純額）	116,644	124,630
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	-	46
その他（純額）	89,643	88,497
有形固定資産合計	3,200,360	3,198,285
無形固定資産		
のれん	145,853	118,855
その他	128,231	137,368
無形固定資産合計	274,084	256,224
投資その他の資産		
投資有価証券	6,163,389	5,826,381
関係会社長期貸付金	1,689,800	1,689,800
その他	280,907	780,644
貸倒引当金	△22,594	△24,006
投資その他の資産合計	8,111,502	8,272,819
固定資産合計	11,585,948	11,727,329
資産合計	22,162,833	21,379,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,461,566	1,428,063
短期借入金	1,426,020	1,427,185
未払法人税等	500,264	88,392
賞与引当金	114,408	58,195
その他	765,120	803,982
流動負債合計	4,267,380	3,805,818
固定負債		
長期借入金	466,082	466,358
退職給付に係る負債	22,670	14,749
資産除去債務	66,652	66,821
その他	1,130,368	1,117,686
固定負債合計	1,685,773	1,665,616
負債合計	5,953,153	5,471,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	11,724,125	11,674,160
自己株式	△717,126	△717,126
株主資本合計	14,580,802	14,530,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,727,271	1,495,789
為替換算調整勘定	41,938	35,616
退職給付に係る調整累計額	△45,575	△44,280
その他の包括利益累計額合計	1,723,634	1,487,125
非支配株主持分	△94,757	△109,808
純資産合計	16,209,679	15,908,156
負債純資産合計	22,162,833	21,379,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,079,016	4,968,893
売上原価	3,787,256	3,624,593
売上総利益	1,291,760	1,344,299
販売費及び一般管理費	926,367	953,057
営業利益	365,392	391,242
営業外収益		
受取利息	6,915	7,107
受取配当金	34,802	35,029
為替差益	-	4,291
持分法による投資利益	15,835	15,714
その他	11,556	5,868
営業外収益合計	69,110	68,011
営業外費用		
支払利息	8,759	5,399
為替差損	21,882	-
その他	3,230	1,412
営業外費用合計	33,872	6,812
経常利益	400,631	452,441
特別利益		
投資有価証券売却益	15,403	-
特別利益合計	15,403	-
税金等調整前四半期純利益	416,035	452,441
法人税、住民税及び事業税	121,216	97,041
法人税等調整額	35,029	43,937
法人税等合計	156,245	140,979
四半期純利益	259,789	311,462
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,211	△2,297
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,001	313,760

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	259,789	311,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160,706	△231,482
為替換算調整勘定	1,317	△4,398
退職給付に係る調整額	1,281	1,295
その他の包括利益合計	163,305	△234,584
四半期包括利益	423,094	76,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,324	79,520
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,230	△2,643

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS 第16号「リース」)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産「その他(純額)」が944千円増加し、流動負債の「その他」が20,860千円及び固定負債の「その他」が58,288千円増加しております。当第1四半期連結会計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は68,350千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,878,438	1,987,388	153,745	59,444	5,079,016	—	5,079,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,541	681	944	4,611	7,778	△7,778	—
計	2,879,980	1,988,069	154,689	64,055	5,086,795	△7,778	5,079,016
セグメント利益 又は損失(△)	437,046	47,991	138,351	△22,413	600,977	△235,584	365,392

(注) 1 セグメント利益の調整額△235,584千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,722,886	2,046,126	153,603	46,276	4,968,893	—	4,968,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,630	—	1,461	4,908	8,000	△8,000	—
計	2,724,517	2,046,126	155,065	51,185	4,976,894	△8,000	4,968,893
セグメント利益 又は損失(△)	405,126	96,088	137,925	△13,431	625,708	△234,466	391,242

(注) 1 セグメント利益の調整額△234,466千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。